

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公開番号】特開2007-75307(P2007-75307A)

【公開日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-012

【出願番号】特願2005-266247(P2005-266247)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 1 A

A 6 3 F 7/02 3 1 4

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の発射手段により発射される遊技球が案内される遊技領域と、

前記遊技領域に案内された遊技球が入球可能な内部領域を有し、遊技球が前記内部領域に入球可能な閉状態と、遊技球が前記内部領域に入球不能な閉状態とに切換可能な可変入球手段と、

前記可変入球手段を閉状態と開状態とに切替える切替制御を実行する開閉制御手段と、前記内部領域に入球した遊技球を検出する入球検出手段と、

前記内部領域に入球し、前記入球検出手段に検出された遊技球が入球可能な特定入球部及び非特定入球部と、

前記特定入球部に入球した遊技球を検出する特定検出手段と、

前記特定検出手段による検出に基づいて、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技処理を実行可能な遊技状態制御手段とを備え、

遊技球が前記内部領域に入球した場合には、前記入球検出手段に検出された後、前記特定入球部又は前記非特定入球部に入球して、前記内部領域から排出される構成であって、

前記特定入球部及び前記非特定入球部に入球した遊技球を検出する排出検出手段と、

前記入球検出手段による検出と前記排出検出手段による検出とにに基づいて、前記内部領域に遊技球が存在しているか否かを判断する残存球監視処理を行う残存球監視手段とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

カウント値を記憶するカウント記憶手段と、

前記カウント記憶手段に記憶されているカウント値を、前記内部領域に存在する遊技球の数がそれまでよりも増えたことを示す値に更新する第1更新手段と、

前記カウント記憶手段に記憶されているカウント値を、前記内部領域に存在する遊技球の数がそれまでよりも減ったことを示す値に更新する第2更新手段とを備え、

前記残存球監視手段は、前記可変入球手段が閉状態とされた後、前記カウント記憶手段に記憶されているカウント値に基づいて、前記内部領域に遊技球が存在するか否かを判断することで残存球監視処理を行うことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記開閉制御手段による前記可変入球手段を開状態に切替える切替制御を許可する有効状態と、許可しない無効状態とに切替える開放許可制御手段を備え、

前記開放許可制御手段は、

所定の契機に基づいて実行される前記開閉制御手段による一連の切替制御が終了し、前記可変入球手段が閉状態とされた後に行われる残存球監視処理において、前記内部領域に遊技球が存在していると判断された場合に前記無効状態に切替え、

前記内部領域に遊技球が存在していないと判断された場合に前記有効状態に切替える構成であって、

前記残存球監視手段は、前記内部領域に遊技球が存在するときには残存球監視処理を繰り返し行うことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記遊技状態制御手段に特別遊技処理を実行させるか否かを判断する特別遊技状態発生判断手段を備え、

前記残存球監視手段は、前記特定検出手段による検出があった場合に前記入球検出手段による検出と前記排出検出手段による検出とに基づいて、前記内部領域に存在する遊技球の数を判断する特定残存球監視処理を行い、

前記特別遊技状態発生判断手段は、当該特定残存球監視処理の結果に基づいて、前記判断を行なう構成であって、

カウント値を記憶するカウント記憶手段と、

前記カウント記憶手段に記憶されているカウント値を、前記内部領域に存在する遊技球の数がそれまでよりも増えたことを示す値に更新する第 1 更新手段と、

前記カウント記憶手段に記憶されているカウント値を、前記内部領域に存在する遊技球の数がそれまでよりも減ったことを示す値に更新する第 2 更新手段とを備え、

前記残存球監視手段は、前記特定入球部に入球した遊技球が前記排出検出手段に検出されることに基づいて行われる前記第 2 更新手段によるカウント値の更新の後に、前記カウント記憶手段に記憶されているカウント値に基づいて、前記内部領域に入球した遊技球の数が前記内部領域から排出された遊技球の数よりも少ないか否かを判断することで前記特定残存球監視処理を行い、

前記特別遊技状態発生判断手段は、

前記特定残存球監視処理において、前記内部領域に入球した遊技球の数が前記内部領域から排出された遊技球の数よりも少なくないと判断された場合には、前記遊技状態制御手段に特別遊技処理を実行させ、

前記内部領域に入球した遊技球の数が前記内部領域から排出された遊技球の数よりも少ないと判断された場合には、前記遊技状態制御手段に特別遊技処理を実行させないことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技機。